



人と人とのつながりから深まる絆と協働

駐日東ティモール大使が熊本YMCAを訪問

東ティモール民主共和国は独立抗争や長い植民地時代を経て2002年に独立したアジアで一番若い国です。国民の多くが1日2ドル以下で生活するとされており、独立後20年以上経過した現在も経済的に厳しい状況にあります。

YMCAではアジア・太平洋YMCA同盟が中心となり、東ティモールYMCAの活動を通して現地の若者や子どもたちの支援を行っています。熊本YMCAで

はながみねファミリーセンターと熊本ひがしワイズメンズクラブが中心となり、2012年に交流を開始。サッカープログラムを通じた支援に始まり、現在も日本語教育などの活動をサポートしています。これを受け、4月に駐日東ティモール民主共和国特命全権大使のイリディオ・シメネス・ダ・コスタさんが来熊。熊本YMCAを訪問し、様々な交流の機会を持ちました。



イリディオ・シメネス・ダ・コスタ大使からのメッセージ

熊本ひがしワイズメンズクラブ創立20周年記念例会でのご挨拶より

長い間にわたり、親しい関係を続けてくださっている熊本YMCAの皆様へ感謝を申し上げます。YMCAの皆さんはいつも東ティモールのことを考えてくださっています。熊本YMCAの職員だった若者が、青年海外協力隊として東ティモールでサッカー指導をしてくれたこともありました。東ティモールにとって日本はたいへん重要な存在であり、これまでも国の発展のために日本政府から多大な支援をいただいています。

東ティモールは高知県に技能実習生を派遣することができませんでした。そのうちの一人は東ティモールのYMCAの日本語学校で学んで技能実習生になることができました。YMCAの存在は東ティモールの次の世代に希望をもたらしています。

東ティモールと熊本YMCAの関係が人々の交流を通して強まっていくことを嬉しく思っています。それは東ティモールはもちろんですが日本の青年たちにとってもよい機会になると思っています。

熊本YMCAと東ティモール これまでの交流 (一部抜粋)



2012年以降、熊本YMCAから職員を5度にわたって派遣。サッカー指導や物資の支援を行った。また数回にわたり文房具や教材、衣類などを送った



これまでに東ティモールYMCAの職員やユース7名の研修を熊本に受け入れた



2019年には東ティモールYMCA総主事のアントニオ・ダ・シルバさんが来熊した

Pickup

熊本YMCA学院
スポーツデイ特集



白熱したミニバレー



全力疾走!学科対抗リレー



みんなで集合写真

1面つづき

熊本YMCA学院の学生らと交流 東ティモールにおける職業訓練のヒントに

今回の来熊で、イリディオさんは4月19日(金)に熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターを、20日(土)にYMCA阿蘇キャンプ、ながみねファミリーセンターを訪問。熊本ひがしワイズメンズクラブの創立20周年記念例会に参加しました。

熊本YMCA学院の学生との交流では、こども保育科、建築科、健康スポーツ科、ホテル観光科、医療秘書科の代表が参加し、学科の授業の内容や特徴を紹介。卒業後の夢を語りました。イリディオさんは「皆さんとお会いすることで、東ティモールの職業訓練でも、あんなことやこんなことができるのではないかなという思いが湧き上がってきました」と語り、「力強く、根気強くがんばってください。どのような問題にも必ず解決策があります。全てを知っている人はいません。お互いが補いあっていろいろな課題を解決していきましょう」と学生らにメッセージを送りました。

そのほか、YMCA職員、会員が同行して木村熊本県知事、深水熊本市副市長を表敬訪問し、技能実習生や研修生の受け入れ、若者の交流について協議しました。また株式会社ヒライの工場を見学し、阿蘇市では阿蘇市長を表敬訪問したほか、JA阿蘇本所営農部視察を行いました。



熊本YMCA学院の学生らと交流。この他、日本語科留学生とも交流した



木村敬熊本県知事表敬訪問



熊本ひがしワイズメンズクラブ創立20周年記念例会

Information 行こう 見よう 深めよう

総合型選抜入試をスタート 熊本YMCA学院 オープンキャンパス



体験
×
進学

熊本YMCA学院は、2024年度から総合型選抜入試をスタートします。学生がYMCAの国内外のネットワークを利用したり、地域に根差した様々な活動に参加することで、人と人とのつながりから多くを学び、成長を志すことを目的とした制度です。まずはオープンキャンパスと総合型選抜入試の説明会にご参加ください。



オープンキャンパス

■ 6月15日(土)9:30～12:00 他、7月6日(土)、20日(土)、8月4日(日)、21日(水)

■ 6月15日実施内容

学科	体験授業内容予定(変更の可能性があります)
一般・二級建築士をめざす 建築科	測量機器を触ってみよう!
東京YMCA国際ホテル専門学校連携 ホテル観光科 ホテル観光コース/国際ビジネスコース ※NEW	ホテルのお仕事を聞いてみよう!
日本医師会認定医療秘書養成校 医療秘書科	「医師事務」って何?お仕事を体験してみよう!
スポーツ指導現場との連携 健康スポーツ科	YMCAのスポーツ事業を知ろう!
指定保育士養成施設 こども保育科	先輩の模擬保育を体験! 「ブクブクわくわく、シャボン玉アート」

総合型選抜入試説明会

■ 6月29日(土)、9月7日(土)

■ 熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンター

■ 熊本YMCA学院 Tel 096-353-6393



広島で国際交流と平和の学びを 第43回国際青少年平和セミナー



国際
×
平和

被爆都市広島に様々な国や地域から若者が集まり、平和について共に考えます。活動を通して海外の若者たちと平和についての互いの思いや考えを共有し、国際交流ができるチャンスです。



■ 被爆者の体験談、平和記念館の見学、平和公園内の記念碑をまわるフィールドワーク、平和記念式典への参列、灯ろう流し等を予定

■ 8月4日(日)～8月8日(木) 場 広島YMCA・広島平和記念公園

■ 85,000円(熊本⇄広島の交通費含む)

※参加費は、熊本YMCA地球市民育成基金の助成申請により補助(最大6割)の支給対象となります。■ 国内外の高校生・専門学校・大学生相応年齢

■ 公益財団法人広島YMCA 申込締切 6月15日(土)

事前説明会

■ 6月7日(金)17:00～18:00 場 YMCA本館／グローバルコミュニティセンター

※電話またはメールでお申込みください。上記の日程で都合がつかない場合はご相談ください。※ご検討中の方もお気軽にご参加ください。

■ 公益財団法人 熊本YMCA(担当:麻生)

Tel 096-353-6397 email sdgs@kumamoto-ymca.org

武藤興紀さんが瑞宝双光章を受章



功労常議員で現在も阿蘇運営委員として熊本YMCAの活動を支援いただいている武藤興紀さんが春の叙勲で「瑞宝双光章」を受章されました。おめでとうございます。

R | E | P | O | R | T

[5月4日⇒5月12日]

ユース

可能性は無限大 全国YMCAのリーダーが研修



ユースボランティアリーダー 本多健人(大学3年生)

5月4日(土)～6日(月)、岩手県にある国立岩手山青少年交流の家を会場に第55回全国YMCAリーダー研修会が行われました。全国から120名のリーダーが集まり、熊本からはユースリーダー3名、職員2名が参加しました。

今回のテーマは「前途洋々～可能性は無限大～」で、子どもやリーダー活動について語り合い、リーダーの潜在的な可能性を引き出し、今後の活動を

希望溢れるものにする意図があります。

1日目のワールドカフェは、理想のリーダー像について語り、今の自分を見つめ、この先どのようなリーダーになりたいのかをつかむ機会になりました。3日目は、グループで話し合って企画した遊びやゲームを発表。思い思いの遊びを形にしました。

今回の研修会は、多くの方の支援をうけて参加することができました。この体験を子どもたちやリーダーに還元しユースの力でYMCAの活動を盛り上げます。



セミナー

ケーススタディから考える 海外にルーツをもつ人材の採用



YMCAフィランソロピー協会事務局 大塚永幸

5月8日(水)、企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が肥後銀行本店でフィランソロピーセミナーを開催しました。テーマは「海外にルーツをもつ人材の採用に際して私たちが考えておくべきこと」。ケーススタディとして、はじめに株式会社肥後銀行人事部の堤勇作さんが実際の採用事例をもとに、企業として配慮したこと、採用してよかったことなどを発表。「外国

籍の人材採用はあくまでダイバーシティ・インクルージョンの1つであり、様々な背景を持つ全ての従業員が働きやすい会社を目指すことが大切」と語りました。続いて、熊本YMCA学院日本語科校長の尾道一幸さんから、全国の留学生や日本語学校の動向や熊本の現状、在留資格や留学生の就職ルートの実例などが紹介されました。

その後、グループディスカッションを行い、参加者からは「外国人と日本人が心地よく共存できる社会づくりを目指したい」などの感想が聞かれました。



野外教育

中学～高校生クラスが発足 野外活動クラブ発会式



野外活動クラブ 藤本博人

年齢や目的に合わせて子どもたちがADVENTURE、FUN、ACTIVE、FUSIONの4クラスに分かれて野外活動に取り組む野外活動クラブが2024年度の発会式を開催しました。5月11日(土)にYMCA熊本五福幼稚園で全体会を行い、メンバーやユースボランティアリーダー、保護者、職員ら105名が参加。2023年度のふりかえり、2024年度の目標、目的、スケジュール確認をしました。

FUSIONクラスは中学生～高校生が対象。自分自身と向き合い、他者との違いを理解すること、自分と他者、自然との融合(FUSION)を目的に新たに設立。全体会後は、小学2年～6年生を対象としたACTIVEクラスと共にYMCA阿蘇キャンプでの1泊キャンプに参加しました。

FUSIONクラスは年間を通じて野外活動を行うほか、各クラスのジュニアリーダーとして関わることで、身につけた知識とスキルをさらに深め、人間性の向上を目指します。



ACTIVEクラスのメンバーに寝袋のたたみ方を教えるFUSIONクラスのメンバー



COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.28

総主事 光永 尚生

YMCAが目指すもの SDGsを超えてSWGsへ

熊本YMCAニュース4月号の1面には、「後半戦へ SDGsのこれから」と題して、上智大学名誉教授で東京YMCA会員である田中治彦さんの講演録を掲載しました。2030年までの後半戦を迎え、「ヨコ糸の連携」というキーワードをいただきました。SDGsは万能ではなく、「核と

平和」の問題も抜けています。また同様に、「文化」の視点も弱いと述べられています。文化は数値化しづらいためです。「18番目の目標としての文化」を捉えていくことの重要性を説かれました。また、前半戦では各自治体、企業、団体単位で「自分たちの目標はどこに位置するのか」という「タグ付け」は進んだ印象であるとしています。しかし、SDGsの目標はあくまで「社会を『変革』すること」であり、タグ付けでは決して変革にはつながらないことも示唆しています。世代間の継承となる「たて糸を通す」ことに加え、分野、団体、部局あるいは教科なども超えて「ヨコの糸を通す」ことが、後半戦の大きな課題だと言えると強調されました。その中で、

YMCAがプラットフォーム的な働きを通してSDGsの働きの先にある新しい働きを考える時、SWGs(Sustainable Well-Being Goals)=持続可能なより良き生き方のゴール設定が、大変重要に思えてなりません。

YMCAが、歴史としての「たて糸」、世界観としての「ヨコ糸」を大切にしてきたこととの親和性が高い考え方ではないかと思えます。これからも「人中心の世界」の実現を目指して平和を創り出すPeace Makerを生み出し続けていく働きこそ、私たちYMCAが目指していくものではないでしょうか。皆様には、「人中心の世界づくり」へ、「みつかる。つながる。よくなっていく。」お働きを今後ともよろしくお願いいたします。

YMCAでとびっきりの夏を!

夏休み こどもプログラム

6月8日(土)9:00AM受付開始

詳細・お申込みはWebで▶



サマーキャンプ

海、山、川、自然の中で思いっきり楽しもう!
リーダーといっしょだから、はじめてのお友だちも安心です。



くろちゃんリーダー

日帰1日間 夏のわくわくデイキャンプ

対 年少～年長 日 7月28日(日)

日帰1日間 森のお仕事体験デイキャンプ

対 小学生 日 8月4日(日)

日帰3日間 3日間えいごデイキャンプ

対 年中～小学2年生 日 8月10日(土)～8月12日(月)

日帰5日間 夏の5日間デイキャンプ

対 年長～小学生 日 8月5日(月)～8月9日(金)

1泊2日 はじめて体験1泊キャンプ

対 年中～小学3年生 日 7月28日(日)～7月29日(月)

2泊3日 昆虫大作戦キャンプ

対 小学生 日 7月29日(月)～7月31日(水)

2泊3日 夏遊び満載! 3日間のスペシャルキャンプ

対 小学生・中学生 日 8月25日(日)～8月27日(火)

3泊4日 フィッシング海遊びキャンプ

対 小学生・中学生 日 8月18日(日)～8月21日(水)

3泊4日 九重登山キャンプ

対 小学生以上～大人 日 8月19日(月)～8月22日(木)

4泊5日 種子島宇宙体験&屋久島神秘的森探検キャンプ

対 小学3年生～中学生 日 7月28日(日)～8月1日(木)

4泊5日 富士登山キャンプ

対 小学3年生(ご家族参加の場合は小学1年生)～大人 日 7月22日(月)～7月26(金)

スポーツスクール&夏休み短期プログラム

夏休みは体操やプール、サッカーなどにチャレンジしませんか?
暑さに負けず、身体を動かそう!



クッキーリーダー

みなみグローバルコミュニティセンター(南区田迎)

☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス2)

- 水泳教室 ■体操教室
- 特別プライベートレッスン(水泳・体操・サッカー等)
- 夏休みのお預かりサマースクール

ながみねファミリーセンター(東区長嶺南)

☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス3)

- 水泳教室 ■体操教室 ■サッカー教室
- 特別プライベートレッスン(水泳・体操・サッカー・かけっこ)
- 夏休みのお預かりサマースクール

むさしグローバルコミュニティセンター(合志市幾久富)

☎ Tel 096-353-6391(音声ガイダンス4)

- 特別水泳教室 ■特別体操教室
- 特別プライベートレッスン(体操、水泳、基礎運動)

東部グローバルコミュニティプラザ(中央区帯山)

☎ Tel 096-382-6661

- HIP-HOP教室
- プログラミングスクール ■ぷらっとサマースクール

わたしと聖句

ハーベストチャーチ熊本
中村陽志



ヨハネによる福音書15章13節

友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

イエスが示す友情

「人間関係リセット症候群」という言葉を聞いたことがありますか? 人間関係の煩わしさのためにSNSなどのアカウントを全て削除して断ち切ってしまうことを「人間関係リセット症候群」というそうです。アカウント削除する側のストレスと、削除される側の痛みがそこにはあります。現代社会は、簡単に断つことができる反面、このように簡単に関係を断つことができる時代でもあります。しかし人間関係で痛みや犠牲が伴うときこそ、人間関係の真価が問われているのではないのでしょうか。あなたにとって痛みを共有してくれる友はいますか? あなたのために犠牲を払ってくれる友はいますか? その友だちこそあなたにとってのかけがえの無い存在なのです。

私は数年前に鬱で倒れるという経験をしました。その時期の私を支えてくれた存在は私にとって大切な友だと感じています。痛みを共有し、一緒に伴走してくれた友の存在によって支えられました。イエスはその友のために命を捨てること以上に大きな愛はないと教え、そして自分が語ったことを十字架の上で実践してくださったのです。そして神であるイエスは私を「友」と呼んでくださっているのです。これは驚くべきことです。神ご自身が私を「友」と呼んでくださっているのです。友情関係を強める犠牲を惜しまないでください。イエスからそれを学び、あなたにとって親友と呼べる関係を築き上げましょう。そのような関係はあなたにとっての一生の宝になります。

発行所/(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)
発行人/光永 尚生 編集人/大塚 永幸
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2024年度基本聖句

マタイによる福音書 5章16節
あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。